（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	総合療育れお			
○保護者評価実施期間	R7年11月10日	～	R7年11月25日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	5名	（回答者数）	4名
○従業者評価実施期間	R7年11月10日	～	R7年11月25日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	6名	（回答者数）	5名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年11月27日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童が様々な体験をできるよう活動に力を入れている。	「児童が取組みたい。」と思ってもらえるようなタイトル、ルール設定などを考えている。	職員が沢山の情報を手分けして収集し、利用児童の好みや苦手を細分化してバランス良く組み合わせを行っていく。
2	児童が楽しみながら感覚にたくさんの刺激を入れた活動を行える。	事業所近辺の自然や事業所内の環境を使いながら、様々な感覚刺激を受けることができるよう支援を行っている。	職員がより学び、活動を行う上での適切な感覚入力を増やす。
3	送迎等の急な変更及び予定と違う動きをとる必要性がでた場合にも柔軟に対応できるよう努めている。	保護者の方と児童の状態、保護者様の意向等を綿密に連携をとっています。また、事業所での変化等を速やかに共有する体制を構築しています。	手軽に共有等を行えるようICTを活用していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時の対応や安全確保について、保護者の方へ情報をしっかりと届けることができていない。	災害時、緊急時対応マニュアル等の整備は行えているが、保護者へ情報を定期的に共有できていない。	個別での共有を行っていくとともに、定期的に情報を発信できる体制が必要。
2	ペアレントトレーニングを行えていない。	ペアレントトレーニングを行える体制を整えることができていない。	人員や時間、場所などを検討しなおし体制を整える必要がある。